

事業番号	07 02 02	事業改善シート(令和4年度実施事業分)			□当初要求	■当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	創業・承継支援強化事業費(令和3年度事業名:創業・起業支援強化事業費)	部局	産業労働部	課・室	経営・創業支援課			
		実施期間	H27 ~	E-mail	keieishien@pref.nagano.lg.jp			
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)								
8つの重点目標	①付加価値を高め、経済成長を実現							
総合的に展開する重点政策	2-1 革新力に富んだ産業の創出・育成	2-6 郷学郷就の産業人材育成・確保	5-2 女性が輝く社会づくり					

1 現状と課題

目指す姿	創業機運の醸成や創業希望者の交流の場の創出、創業を支える環境の整備などにより、ベンチャー・エコシステムを構築し、新たな価値を創造する創業を促進する。	
これまでの取組	<ul style="list-style-type: none"> 市町村と連携した新たな創業支援拠点「信州スタートアップステーション」の運営 創業後間もない企業を公募により選定し、短期間の集中的伴走支援を行う「信州アクセラレーションプログラム」の実施 地域課題解決型の創業を行う者を支援する「ソーシャルビジネス創業支援金」の創設 	
令和3年度の点検結果・現状分析	課題	今後の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> 創業者の掘り起こしを行う上で、後継者不在企業の経営資源を活用した創業(経営資源引継ぎ型創業)が有効とされているが、本県においては、それに特化したワンストップの支援体制が構築されていない。 本県には創業初期段階における金融支援が不足していることから、それを補うための施策が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 経営資源引継ぎ型創業を支援するためのコーディネーターの配置やセミナーを開催する。 今後設立が予定されている官民連携による創業・承継支援ファンドに対して、投資先企業のサポートや広報等を通して側面的支援を行う。

2 令和4年度事業内容

予算のポイント・主な取組(予定)	<ul style="list-style-type: none"> 信州スタートアップステーションの運営 令和2年度に松本市、令和3年度に長野市に設置した創業支援拠点「信州スタートアップステーション」を運営 従来の信州スタートアップステーションの創業支援機能(相談窓口、セミナー等)に加えて、経営資源引継ぎ型創業の支援を行うためのコーディネーターを配置 今後設立が予定されている官民連携による創業・承継支援ファンドに対して、投資先企業のサポートや広報等を通じた側面支援
DX、ゼロカーボン、共生社会づくり、学びの県づくりに資する取組	【DX】【共生社会づくり】【学びの県づくり】創業関連施策を通じて、AI、IoT等の先端技術を活用したスタートアップ企業の創出、起業家教育、社会課題解決への取組を支援

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、-:数値なし]								区分(単位:千円)					
No	成果指標	単位	R1年度	推移	R2年度	推移	R3年度(見込)	R4年度目標値	R2年度	R3年度	R4年度		
1	信州スタートアップステーションの支援を受けて創業した件数	件	—	—	7	↑	15	15	0	0	要求	112,723	
2	信州スタートアップステーションでの相談対応件数	件	—	—	419	↑	600	600	88,935	102,916	予算案	108,085	
3	創業支援金を活用した創業件数	件	11	↑	19	↑	26	30	補正予算	-22,000	0		
4									合計(A)	66,935	102,916	要求	112,723
5									うち一般財源	33,553	54,527	予算案	108,085
									決算額(B)	55,189		要求	43,965
									職員数(人)	2.1	2.1	予算案	43,037
													2.1

設定理由	成果指標	1.信州スタートアップステーションの支援効果を把握するための指標 2.信州スタートアップステーションの利用状況を把握するための指標 3.創業支援金による創業促進状況を把握するための指標
	目標値	1.R3年度の信州スタートアップステーションの支援を受けた者の創業件数見込みが15件であるため、同程度の水準を目標に設定 2.R3年度の信州スタートアップステーションの相談対応件数見込みが600件であるため、同程度の水準を目標に設定 3.R3年度の創業支援金を活用した創業件数見込みが26件であるため、それを上回る水準を目標に設定

予算要求からの主な変更点	スタートアップ支援事業について、既存のスキームを活用した支援体制に見直したこと等により、経営資源引継ぎ型創業に係るコーディネーター費用、セミナー費用等の経費を減額
--------------	---

事業番号	07 02 02	事業改善シート (令和4年度実施事業分)		□当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検		
事業名	創業・承継支援強化事業費(令和3年度事業名:創業・起業支援強化事業費)		部局	産業労働部	課・室	経営・創業支援課

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	
1	スタートアップ支援事業	22,924 千円	35,871 千円	要求 45,678	予算案 41,040 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	信州スタートアップステーション運営事業	委託	専門コーディネーターによる相談窓口(週5日稼働、1拠点あたり1人常駐)を設置		
2	創業応援プラットフォーム事業	直接	創業支援機関やコワーキングスペース関係者等が連携促進や情報交換を行う場である創業応援プラットフォーム会議の開催 4回		

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	
2	地域課題解決型創業支援事業	66,011 千円	67,045 千円	要求 67,045	予算案 67,045 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	地域課題解決型創業支援事業補助金(ソーシャル・ビジネス創業支援金)	補助金	県内の地域課題を社会的事業で創業する者の創業に要する経費を補助するとともに、伴走支援を実施 【補助想定件数30件、補助総額60,000千円】		